

2026年3月12日
南海電気鉄道株式会社

全105駅と全有料特急を再エネ100%に！ ～分社化にあわせ鉄道事業のカーボンニュートラル化をさらに加速～

南海電気鉄道株式会社(社長:岡嶋 信行、以下「当社」)では、「南海グループ環境ビジョン2030」の達成に向けて、関西電力株式会社(以下「関西電力」)、ヘリオスソーラー合同会社などとオフサイトコーポレート PPA※¹に関する契約に合意しました。本契約により、当社が鉄道事業で使用する全105駅および全有料特急※²の走行に必要な電力量に相当する再生可能エネルギーを導入します。

今回導入する再生可能エネルギーは、2024年度の当社鉄道事業での使用電力量の約16.2%に相当します。さらに、これまで導入した再生可能エネルギー※³を含めると、合計で約19.8%を賅うこととなります。

本取組みは、複数の発電事業者が太陽光発電設備を開発・運営し、関西電力が小売事業者として当社へ電力を調達・供給するもので、2026年4月から順次導入を予定しており、年間約16,000t※⁴のCO₂排出量削減(一般家庭約6,200世帯分)を見込んでいます。

今後も、「南海グループ環境ビジョン2030」に基づき、「脱炭素社会の実現」に向けた取組みを推進することで、地球温暖化の防止に貢献してまいります。



難波駅



特急サザン



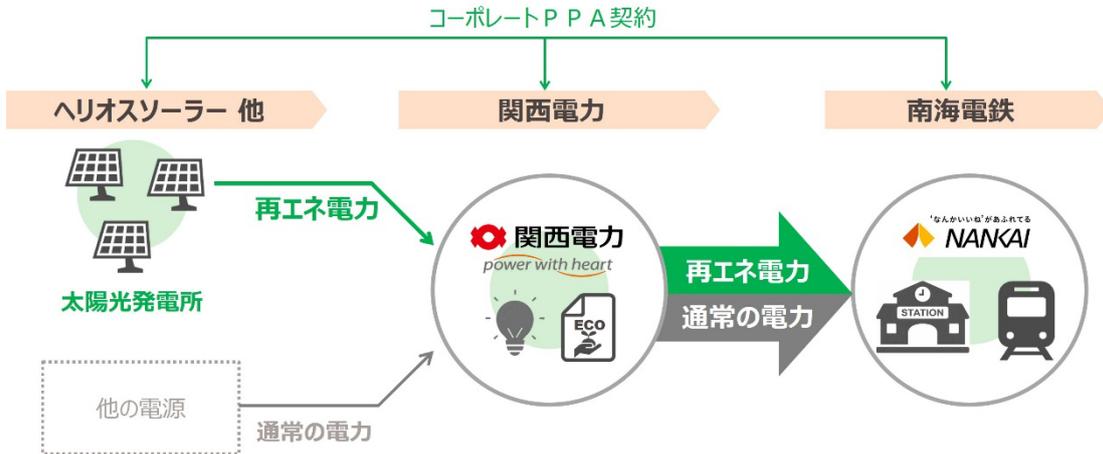
特急りんかん



特急泉北ライナー

事業概要

| | |
|-----------|----------------|
| 発電者・発電事業者 | ヘリオスソーラー合同会社 他 |
| 小売電気事業者 | 関西電力株式会社 |
| 需要家 | 南海電気鉄道株式会社 |
| 発電出力 | 約23,000kW |
| 供給開始時期 | 2026年4月以降順次 |



| | オンサイト型 | オフサイト型 | |
|------|-----------------------|----------------------------------|------------------------------|
| | | ①フィジカルPPA | ②バーチャルPPA |
| スキーム | | | |
| 概要 | 同一敷地内で、再生可能エネルギー電力を消費 | 離れた場所から、小売事業者を介して、電力と非化石証書の双方を取引 | 離れた場所から、小売事業者を介さず、非化石証書のみを取引 |

※画像(図)提供: 関西電力株式会社

- ※1 「Power Purchase Agreement」(電力供給契約)の略。需要家と発電事業者が小売事業者を介して長期・固定価格での電力購入契約を結ぶ、電力供給・調達方法
- ※2 本契約による導入対象は、「特急サザン」、「特急りんかん」、「特急泉北ライナー」です。すでに導入(導入を予定)している「特急こうや」、「特急ラピート」を含めると全ての有料特急が再生可能エネルギーによる走行となります。
- ※3 「鋼索線(高野山ケーブルカー)」(2021年6月)、「特急ラピート」(2024年4月)、観光列車「GRAN 天空」・「特急こうや」(2026年4月)、太陽光発電(ホーム上屋)(2008年3月から順次)など
- ※4 関西電力「小売電気のCO2排出係数(2024年度実績)」から算出

| | | | |
|--|------------------------------------|-------------------------------|------------------------------------|
| <p>南海グループでは、SDGsへの取組みを強化しており、関連するニュースリリースに「SDGsの目標アイコン」を明示しています。今回ご案内の取組みは、7番、13番、17番に繋がるものです。</p> | <p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p> | <p>13 気候変動に具体的な対策を</p> | <p>17 パートナリシップで目標を達成しよう</p> |
|--|------------------------------------|-------------------------------|------------------------------------|

【参考】当社の環境への取組みについて

当社グループでは、脱炭素社会の実現に向け、2030年度にCO2排出量を2013年度比46%以上削減する目標を掲げています。CO2排出量削減に向けた最近の主な取組みは以下の通りです。

| | |
|--|--|
| ◆新観光列車「GRAN 天空」と「特急こうや」が再エネ100%で走行します(2026年4月(予定)) | |
| ◆通天閣に再生可能エネルギーを100%導入し、カーボンフリー化達成(2025年4月1日より) | |
| ◆なんばパークス・なんばスカイオ(オフィスやテナント含む)に、南海小峰台太陽光発電所で発電した再エネ(約600万kWh)を自己託送するなど、全使用電力のカーボンフリー化達成(2024年11月1日より) | |
| ◆なんばから関西空港を結ぶ特急ラピート全6編成において、再生可能エネルギー100%で走行(2024年4月1日より) | |
| ◆高野山ケーブルカーにおいて、再生可能エネルギー100%で運行(2021年6月1日より) | ◆省エネルギー車両「8300系」を順次導入(2025年3月31日現在 136両導入) |
| ◆既存不動産や新規開発物件での(※)環境認証取得 ※ DBJ Green Building 認証によるもの(2025年3月31日現在 4件) ・北大阪トラクタターミナル2号棟、大阪府食品流通センターE棟 など | |
| ◆J-クレジット(※)取得の拡大 「なんかいの森」で吸収するCO2量をクレジットとして創出(2023年度に2,369t 取得) ※森林経営などの取組みなどによる、温室効果ガスの吸収量などを「クレジット」として国が認証する制度 | |



観光列車「GRAN 天空」



特急こうや



通天閣



特急ラピート



高野山ケーブルカー



なんばパークス

(参考)脱炭素社会実現に向けた鉄道の環境優位性の理解促進について

一般社団法人日本民営鉄道協会とJRグループ各社では、日本のカーボンニュートラルの実現に向けて、相対的に低炭素な輸送モードである鉄道のさらなる利活用促進(モーダルシフト)をめざすとともに、鉄道の環境優位性に対する社会的な理解促進に取り組むため、共通ロゴマークとスローガンを定め、鉄道業界一丸でPRに取り組んでいます。

詳細ページ: <https://www.mintetsu.or.jp/association/news/2023/22402.html>



Switch!
SUSTAINABLE
TRAIN

(共通ロゴマーク)

以上